

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
野外活動（キャンプ） Camping		1年	集中（前期）	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	実験実習	必修	（キャンプインストラクター資格取得科目）	協調性のある学生しか参加できない
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特にない				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特にない				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
加藤秀治（主）、大熊信成（副）、新井文子（副）				授業中に指示します
授業の概要				
アウトドアスポーツが年々盛んになっている今日、キャンプは園児や児童にとって、仲間と協力することの大切さ、努力することの意味、諦めない気持ちを育むための学習として多く行われている。また高齢者・障害者にとっては、自分自身を再発見する生涯スポーツとして実施されている。キャンプ指導はこの様に幅広い対象者に対して行われており、必然的にそれぞれ全く異なる目的を持った活動となる。本実習では環境教育を主たる目的とし、それぞれの対象にあったキャンプが実施できるよう、指導者として知っておくべき知識の習得を図る。				
授業の目標				
①現代社会において、キャンプが教育的な形で取り入れられている理由を説明できるようにする。 ②キャンプの計画から企画そして安全な運営ができる技能を、身につけることができるようにする。 ③対象者に応じた、明確な目的を持った安全で意義のあるキャンプ指導ができる技能を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
事前講習（さのタンキャンプ実習の注意事項等の説明）、本実習（さのタンキャンプ実習）、理論講習（資格取得者のみ受講）の三部構成で実施している 参加者募集は7月中旬に実施している				
学習の成果（学習成果）				
①キャンプの面白さを経験することにより、生涯にわたり楽しむことのできる趣味の一つとすることができる。 ②キャンプは環境教育として用いられるが、キャンプを通して知り得た環境保護を実生活に活かすことができる。 ③キャンプ指導者としての計画・企画・運営ができる。 ④危険予知能力、危険回避能力と言ったりリスクマネジメント能力を発揮することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	1. 講習場所：栃木県立太平少年自然の家を予定（＝場所の変更も有り得る）			
第2回目	2. 実施予定日 ☆事前講習 平成28年8月下旬 ☆本講習 平成28年9月中旬の3泊4日 ☆理論講習 平成29年3月初旬ごろ → 資格取得希望者のみ			
第3回目	3. 講習参加費用 12,000円予定（昨年度実績＝若干の金額の変更も有り得る）			
第4回目	4. 資格取得費用 登録費・テキスト代として15,000円が別途必要となる → 資格取得希望者のみ			
第5回目				
第6回目				

第7回目									
第8回目									
第9回目									
第10回目									
第11回目									
第12回目									
第13回目									
第14回目									
第15回目									

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	90%	<ul style="list-style-type: none"> ・協調性を持った生活態度で実習に臨んでいる ・朝の清掃当番など自分の役割に対して、責任を持って努めている。 ・安全な活動に心がけている。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	10%	キャンプ実習に備えて、健康面や個人の装備などがしっかりと準備ができているかを評価する。

教科書と参考図書

教科書：「キャンプ指導者入門」（日本キャンプ協会編）＝キャンプインストラクター資格取得者のみ購入

履修上の留意点・ルール

さのタンキャンプ実習参加費（¥12,000 平成27年度実績）を徴収する
 キャンプインストラクター資格取得者は、登録費・協会年会費として（¥13,000 平成24年度実績）・テキスト代（¥2,000 平成27年度実績）を別途徴収する